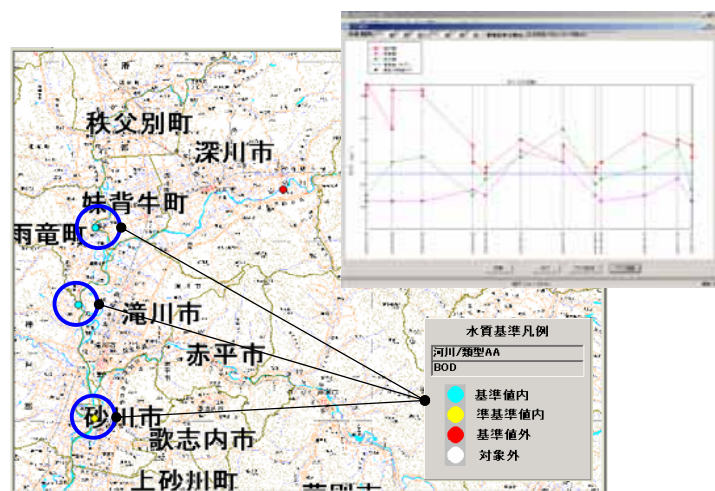


-IT技術を活用した農業-

水質診断位置システム

- 河川水質の長期的な経時変化をモニタリングするために、“公共用水域の水質測定結果(北海道環境生活部)”をデータベース化しています。
- GISの活用により、蓄積したデータベースから、環境基準値に対する適否を判定します。また、経時変化のグラフ化も可能となります。



土壌診断位置システム

- 農耕地における土壌分析結果をデータベース化します。
- GISの活用により、土壌分析結果の診断や施肥設計・診断基準値との比較を行います。また、土壌肥沃土区分に色分けした地図の作成も可能となります。



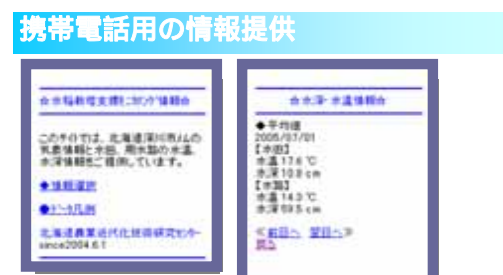
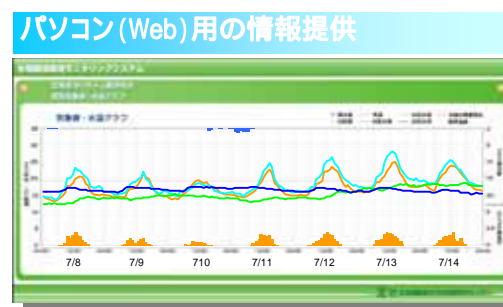
作付管理システム

- 圃場における作付履歴や収量レベルなどの情報をデータベース化します。
- GISの活用により、計画的な営農の実践が可能となります。



冷害軽減のための 水稻栽培環境モニタリングシステム

- 水田水温による稲体の保温は、寒冷地域の稲作栽培において、極めて重要な技術です。
- 水稻栽培環境モニタリングシステムは、用水や水田内の水温や気象情報を収集し、リアルタイムデータとして提供します。
- 生育栽培情報とともに管理することで、より高度な水管理や栽培管理が可能となります。



農地利用集積システム

- GISの活用により、農地流動化の集積業務(事業計画・帳簿および図面出力)が行えます。
- 農地集積の計画案をシミュレーションできるので、より最適な農地集積が可能となります。

